



## 「被爆70年を迎えて 幟町と佐々木禎子」

～旧友による講演&ちいさな展示会～

広島国際大学（学長/秋山實利）は、被爆70年を迎える2015年夏、＜原爆の子の像＞のモデルともなった佐々木禎子さんに光をあてて、クラスメイトであった川野登美子氏による特別講演会を行います。また、幟町の本学広島キャンパスに併設するギャラリーで、禎子さんの資料を展示します。

本企画は、＜いのちと向き合う経営学＞を学ぶ医療経営学部の学生に「いのちの尊さ」「平和の意味」を問い直す機会とすることを目的としていますが、禎子さんの物語をより多くの方に知っていただきたく、一般の方々の参加も募ります。

当日は川野氏に、禎子さんとの交流、人々が団結して「原爆の子の像」が建立できた経緯、そして、平和への想いについて話していただきます。

つきましては、開催概要をお知らせしますので、事前告知や取材の機会がありましたら取り上げていただきたくよろしくお願ひします。

.....【開催概要】.....

### ＜特別講演会＞

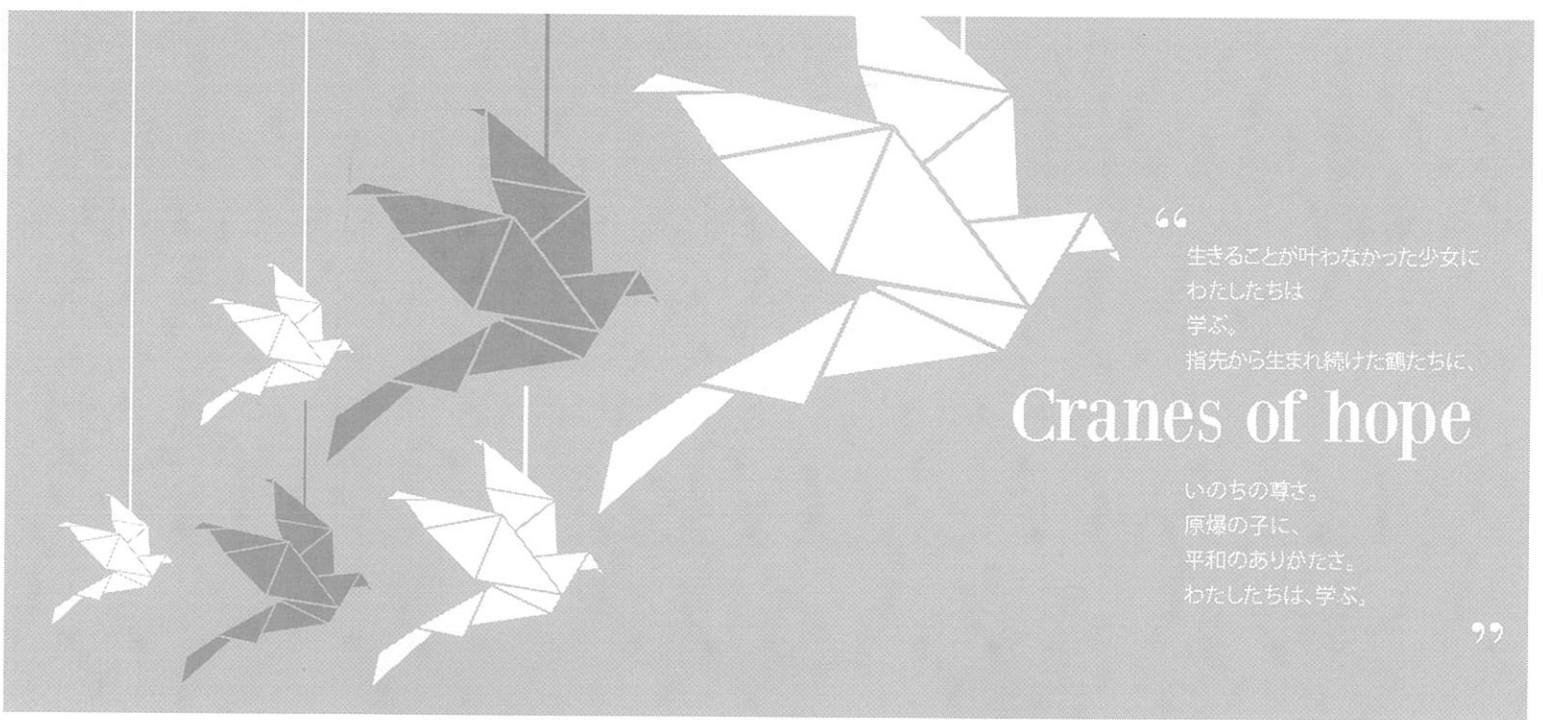
1. 日 時：2015年7月29日（水）9：00～10：00
2. 講演者：川野登美子氏
3. 会場：広島国際大学 広島キャンパス＜広島市中区幟町1-5＞
4. 定 員：120人

### ＜展示会＞

1. 開催期間：2015年7月27日（月）～8月21日（金）
2. 時 間：9：00～20：00
3. 場 所：同キャンパス1階 幟町ギャラリー
4. 協 力：広島平和記念資料館

■取材の申し込みおよび内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 広報室（坂井・中神） TEL：0823-27-3102



“

生きることが叶わなかった少女に  
わたしたちは  
学ぶ。  
指先から生まれ続けた鶴たちに、

## Cranes of hope

いのちの尊さ。  
原爆の子に、  
平和のありがたさ。  
わたしたちは、学ぶ。

”

「生きたい」。折り鶴の姿にいのちへの希望を託して、  
鶴を折り続けた少女がいました。1949年、広島キャンパスのある街、  
幟町小学校に入学した佐々木禎子さんです。  
将来は、体育の先生になることを夢見ていました。  
被爆によって失われた多くのこどもたちの霊を慰めようと、  
禎子さんをモデルにした「原爆の子の像」が建立されたことを契機に、  
ひとりの少女の物語は世界へと語り継がれることになりました。  
今年、被爆70年。禎子さんの通った同じ街にある  
わたしたち、広島国際大学のちいさなギャラリーで、より多くの方たちに  
禎子さんの物語を知っていただく展示会と講演会を実施します。  
学生たちとともに、改めて、平和の尊さを確認し、  
そして、歴史から学ぶ機会にさせていただければ、と願っています。

# 幟町と 佐々木禎子

のぼり  
ちょう

被爆70年を迎えて

- 開催期間：2015年7月27日(月)～8月21日(金)
- 時間：9:00～20:00
- 場所：広島国際大学 広島キャンパス1F 幟町ギャラリー  
主催／広島国際大学 協力／広島平和記念資料館

### 特別講演会(定員120名)

7月29日(水) 9:00～10:00	地域の伝承者による講演会も実施します。 講演者：川野登美子氏(禎子さんのクラスメイト)
------------------------	--